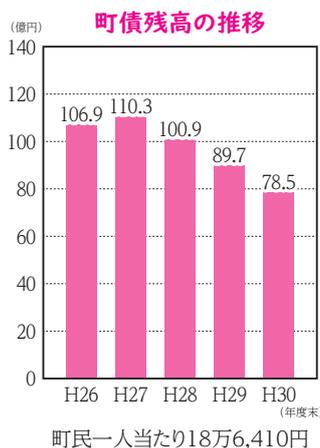
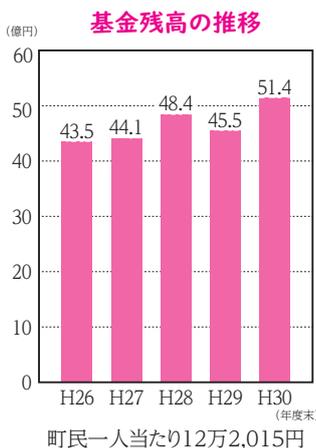
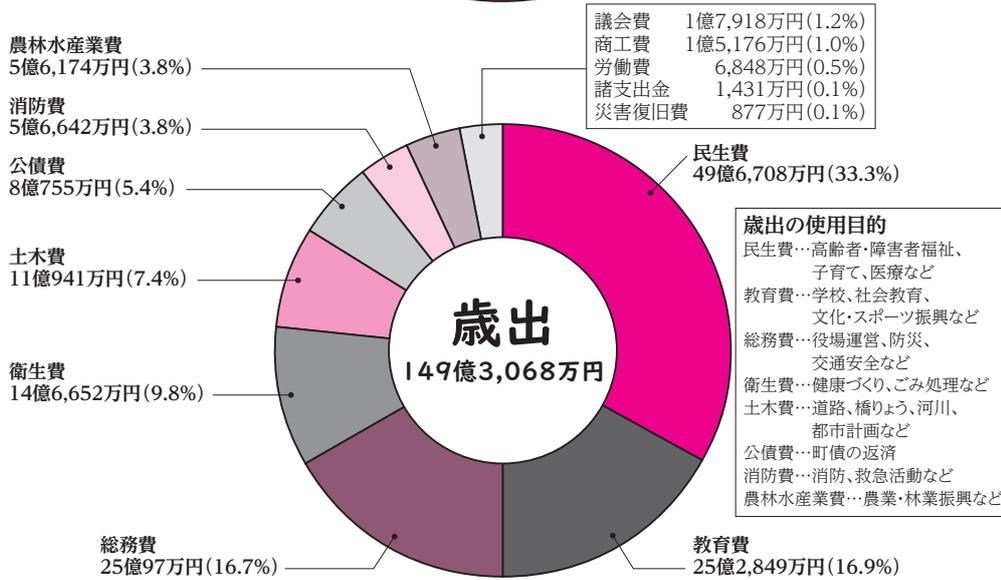
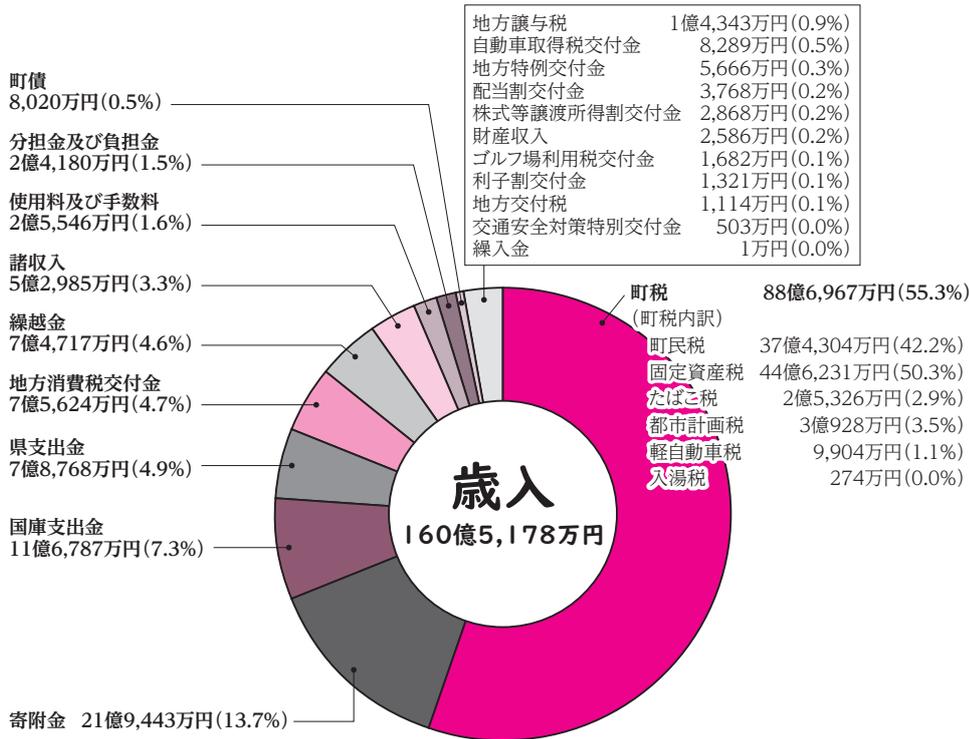


# 平成30年度決算報告と町の財政状況

## わが町のお金の使いみち

今年もわが町の台所事情をお知らせする時期が来ました。皆さんが納めた貴重な税金や、国・県からの補助金などが、幸田町のまちづくりにとどのように使われたのかを公表します。

### 一般会計



**借金・貯金の状況**

平成30年度末の町債(借金)の残高は、78億5,270万円です。道路や学校など長期間使用する施設の建設には、多額の経費が必要となります。町債で賄うことは、後世代の人にも公平に負担していただく意味もあります。基金(貯金)の残高は、51億4,280万円です。大幅に税収が減少した場合や災害などの予定外の支出に備える「財政調整基金」(約26.7億円)など8つの基金に積立しています。\*一般会計と特別会計の合計額で算出

## 決算状況

会計名			歳入(a)	(伸び率)	歳出(b)	(伸び率)	差額(a)-(b)
一 般 会 計			160億5,178万円	(4.4%増)	149億3,068万円	(2.1%増)	11億2,110万円
特別会計	土地取得特別会計		2,136万円	(43.7%減)	65万円	(96.2%減)	2,071万円
	国民健康保険特別会計		32億7,094万円	(12.9%減)	32億6,912万円	(9.6%減)	182万円
	後期高齢者医療特別会計		4億411万円	(0.3%増)	4億388万円	(0.3%増)	23万円
	介護保険特別会計		18億6,752万円	(0.6%増)	18億4,602万円	(1.5%増)	2,150万円
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計		2億75万円	(36.7%減)	2億75万円	(36.1%減)	0万円
	農業集落排水事業特別会計		3億5,404万円	(3.1%増)	3億4,502万円	(3.4%増)	902万円
	下水道事業特別会計		6億5,439万円	(2.6%減)	5億8,344万円	(11.8%減)	7,095万円
企業会計 (税抜き)	水道事業 会計	収益的収支	8億900万円	(3.5%増)	6億4,000万円	(2.0%増)	1億6,900万円
		資本的収支	1億150万円	(1.2%減)	2億8,732万円	(5.4%増)	▲1億8,582万円
総 合 計			237億3,539万円	(0.4%増)	225億688万円	(0.8%減)	12億2,851万円

\*歳入には翌年度繰越明許費(事業財源分)一般会計4億2,242万円を含む

### 都市計画税の使いみち

都市計画税は、都市計画事業などのための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	都市計画税からの充当額
都市計画総務事業	5,836万円	3,343万円
土地区画整理事業	1,357万円	790万円
街路事業	24万円	14万円
公園事業	8,625万円	4,513万円
幸田駅前土地区画整理事業	2億75万円	6,412万円
公共下水道事業	5億8,344万円	1億5,856万円
合 計	9億4,261万円	3億928万円

### 入湯税の使いみち

入湯税は、入湯客に課されるもので観光の振興および観光施設の整備などに要する費用のための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	入湯税からの充当額
観光事業	997万円	274万円



### えこたんの解説



一般会計の歳入は、平成29年度と比べると約6億7,500万円増の決算となったよ。これは、町民税の増収やふるさと納税で全国の皆さんから多くの寄付金をいただいたからなんだよ。歳出も、児童・生徒の増加に伴う給食センター拡張に向けた用地取得や北部中学校校舎増築による教育費の増加、今年度予定している藤田医科大学岡崎医療センター整備支援負担金の支出に向けた積立てを行ったことによる衛生費の増加などにより約3億円増えたんだ。実施した主な事業は、9ページで紹介しているから見てみてね。公債費は、平成29年度と比べると借金の残高は減っているけど、借金の比率は県内では高い方なんだ。引き続き「人と自然と産業の調和」がとれたまちづくりに取り組んでいくね。

一般会計のほかに7つの特別会計と1つの企業会計が設けられているんだ。特別会計は、特定の事業のために財布を分けて管理しているというイメージだね。企業会計は水道事業会計のみで、町の水道事業はここで独立経営しているよ。限られた財源を生かしながら、町ではさまざまな事業が進められているんだよ。

## 幸田町の家計簿

町の財政状況を分かりやすくするため、平成30年度の町の一般会計決算額を町の人口42,126人（平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口）で割り、町民一人当たりの金額に換算して、家計で使う項目に例えてみました。

収入		支出	
給料(町税等)	30万5,375円	食費(人件費)	7万3,693円
両親からの援助(国・県支出金など)	7万3,763円	医療費(扶助費)	5万2,769円
ローンで賄っている額(町債)	1,904円	ローン返済(公債費)	1万9,170円
<b>合計</b>	<b>38万1,042円</b>	光熱水費(物件費)	7万9,139円
		自宅の修繕(維持補修費)	9,976円
		お祝い金、町内会費 (補助費等)	4万1,414円
		貯金(積立金)	1万980円
		証券投資(貸付金)	2,136円
		仕送り(繰出金)	3万146円
		自宅の増改築(普通建設)	3万4,799円
		自宅の増改築(災害復旧費)	208円
		来季に支払うお金(繰越明許)	1万27円
		繰越金(実質収支)	1万6,585円
		<b>合計</b>	<b>38万1,042円</b>

家計と町の財政ではお金の使い方も規模も違うから単純には比べられないところもあるけど、おおよそのようになるよ。



## 平成30年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成30年度決算に基づく健全化判断比率および公営企業の資金不足比率を公表します。

### 財政健全化判断比率

地方公共団体は、統一的な指標で財政状況を把握するため、4つの財政指標である健全化判断比率を算定し公表することが義務付けられています。いずれの指標も早期健全化基準を超えた場合は、財政状況はイエローカードである「早期健全化団体」となり、財政状況を改善するための計画を策定する必要があります。幸田町は、いずれの指標も基準を下回っています。

項目	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	13.40%
連結実質赤字比率	—	18.40%
実質公債費比率	4.2%	25.00%
将来負担比率	—	350.00%

\*「—」で表示されている項目は、黒字のため数値が計上されていません。

### 公営企業の資金不足比率

公営企業会計における料金収入に対する資金不足額(赤字額)に対する比率であり、経営健全化基準を超えた場合は、経営健全化計画を策定する必要があります。

資金不足を生じた公営企業会計はありませんでした。

項目	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	20.00%
水道事業会計	—	20.00%

\*「—」で表示されている項目は、黒字のため数値が計上されていません。

### えこたんの解説



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は、平成18年に北海道夕張市が財政破綻したことが発端でできた法律のことで、議会や住民に対して財政状況を公表することが義務付けられたんだ。幸田町は「財政健全化判断比率」、「資金不足比率」とともに基準をクリアしているよ。今後も健全財政を心掛けていくね。

# 決算審査報告

幸田町監査委員

山下 ちかお  
杉浦 あきら

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正であると認められた。

## ◎一般会計・特別会計

一般会計と各特別会計の決算総額は、前年度と比較し、一般会計の歳入・歳出は増加し、特別会計は減少となった。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、実質収支は黒字、単年度収支は赤字であった。町税の収納率は、若干上昇したものの、未納者に対しての対応は、個別に応じ、厳正な措置や柔軟な対応も継続して行われた。また、主要な財政指標では、公債費負担比率は年々着実に減少している。経常収支比率も低下した。今後も財政力強化のため、自主財源の増強に合わせ、経費の節減と事業の効率化に努められたい。

## ◎水道事業会計

水道事業会計は、前年度と比較し、年間総配水量および年間総有収水量ともに増加している。総収益および最終純利益は各々増加している。引き続き安定かつ良質な水の供給に向け、施設の耐震対策・ライフライン機能強化・有収率の向上を含めた総合的な事業の取り組みが必要と考える。

## ◎総評

平成30年度決算では、個人町民税、法人町民税、ふるさと寄附金の増加により、前年度を上回る歳入を確保できた。財政指標の健全化比率などは、健全な数値と判断することができた。しかし、不確実性の高い歳入財源、歳出では社会保障関係経費、公共施設の維持補修費の増加など、行財政運営は予断を許さない状況が続くものと考えられる。町職員においては、事務事業の必要性、効率性、有効性に視点をおき、適正な公金支出と事務処理を心掛け、より良い行政サービスをより効率的に町民に提供できるよう、職務に精励されることを望むものである。  
(平成30年度決算審査意見から)

## 平成30年度に実施した主な事業

多世代の皆さんが笑顔あふれる元気なまちを目指し、さまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。



北部中学校校舎増築



幸田駅前駐輪場整備



小規模保育改修費等補助金  
(Kids school さくらんぼ幸田)



アンダーパス施設安全対策



公園灯LED化



中学校部活用楽器購入

問合せ 財政課財政グループ ☎(0564)62-1111(内線353) FAX(0564)63-5139